

第2760地区  
**豊田ロータリークラブ**  
 『ロータリーに誇りと自信を！魅力あるクラブを目指して』  
<http://www.toyotarc.jp>



**本日の例会**

第2414回

日時 平成22年2月4日(木) 12:30~13:30  
 場所 ホテルトヨタキャッスル  
 内容 クラブフォーラム  
 -今週の祝福-  
 会員誕生日 2月 8日 永田一夫君、後藤尚之君  
 ご夫人誕生日 2月11日 井戸雅裕君ご夫人 智恵美様  
 2月16日 山田康二君ご夫人 泰枝様  
 結婚記念日 2月 9日 後藤尚之・恵美子ご夫妻  
 2月10日 山田郁雄・みと子ご夫妻  
 2月14日 杉浦正典・小春ご夫妻  
 2月15日 山内一生・敏江ご夫妻  
 2月15日 梅村泰弘・恵美子ご夫妻  
 2月15日 永井英雄・紀代子ご夫妻

**前回の例会**

第2413回

日時 平成22年1月28日(木) 12:30~13:30  
 会場 ホテルトヨタキャッスル  
 司会 会場委員 斎藤正吉君  
 斉唱 『我等の生業』  
 来訪者 岡崎RC 古澤 武雄 様  
 岡崎南RC 山崎 泰信 様

**会務報告 会長挨拶 岡田勝美 会長**

こんにちは。今日は、会長報告・会務報告はありません。  
 先日、友人でもありますライオンズクラブの人達とお話をしております、会員増強のお話が出ました。そのライオンズクラブは豊田の中でも歴史のあるクラブであります。設立当初は、80数名だったのが、今は50名位しかいないという事で、対外的な色々な事業費もなかなか出にくくなったという事で、早急に会員増強をしなければいけないという事です。そこでロータリーはどうかという話がありました。ロータリーも皆さん御承知の通り全国的には会員減少というのが問題になっており、増強もままならないということで、会員維持のために退会防止に力をいれておる状況で、同じような事だという話をしましたが、豊田の場合は三好クラブを除いては、まあまあ会員数を維持出来ているという事で、これは先輩の皆さん方が会員の供給右舷とのパイプを作っておいて頂いたお陰で、毎年毎年定期的に入会して頂けるお陰でありますとお話ししましたが、ライオンズさんはまったくそういったパイプが無いという事で、新入会員の入る目途が無いという事で、クラブを挙げてしなければならぬ状況らしいです。ロータリー・ライオンズに限らず色々な組織が会員減少に悩まされており、組織に入らない人、束縛されない人が増えていますので、この豊田ロータリーも油断しておると直ぐに会員減少という事になりますので、会員増強については、担当

委員会だけではなく、会員全員がその意識を持って行動してもらいたいなと思っております。是非、良い人がいたら入会を勧めていただきたいと思っておりますので、よろしく願いさせていただきます。挨拶と代えさせていただきます。ありがとうございました。

**幹事報告 天野勝美 幹事**

- 例会変更のお知らせはお手元の資料をご確認下さい。
- 前回に引続き、ハイチ共和国への義援金のご協力をお願いします。
- 豊田スタジアムより「AFCアジアカップ2001予選」「菜の花開花イベント開催のお知らせ」が届いております。

**\*ゴルフ同好会より 市川善英君**

西三河中分区懇親ゴルフ大会が、4/22(木)に岡崎葵CCで開催されますので、多数の方のご参加をお願いいたします。

**卓話**

担当 丸井俊裕君



今日は、ワインの葡萄の生産者の須崎大輔さんをお招きしておりますので、私のお話は短くしたいと思います。簡単に自己紹介ですが、豊田の地に産まれまして、朝日ヶ丘という所でお寺の住職をしております。もうひとつ保育園が御座いまして、青松子供園といいますが、お陰様で地域の人に愛されまして230名位の園児さんが来ております。最近私も、物忘れがだいぶ進んでまいりまして、いろいろな事をほんとによく忘れます。昨日も食事をしながらお酒を飲んでおった訳ですけど、話した内容もほとんど覚えていないという状態で情けない訳ですが、落語にもありますようにそれぐらいならまだいいと、あまり飲みすぎて我を忘れないよう、これから気をつけてまいりたいと思います。  
 それでは本日は、アズッカ エ アズッコ プロジェクト代表の須崎さんをお迎えしております。皆さんにとって興味深いお話になるかと思えます。去年2009年は700本位のワインをお造りになったそうです。今年2010年は、2009年に収穫したワインを6月位に販売されるようであります。是非楽しみにしていただきまして、飲まれる方は程々にお飲みいただきまして、記念日等に使っていたらと思いますので、よろしく願いいたします。

**ゲストスピーカー 須崎大輔氏(アズッカエアズッコワインプロジェクト代表) 『ワイン物語』**

～2009年6月、豊田で始めてワインが誕生～  
 ◆プロフィール  
 寅年生まれの36歳、豊田市出身です。実家は、農家でも造り酒屋でなく、農業とも醸造とも縁遠く成長いたしました。ワインとの出会いは、大学生の時で、現在の妻との出会いとも言え換えられるかもしれません。私はもともとワインが苦手だったのですが、妻の影響で徐々にはまっていきました。その後、学生中に旅をしたイタリアでの風景、特にぶどう畑の何処までも長い真っ直ぐな『ぶどうの列』のように、強烈な印象を受け、あの風景の中でいつか働きたいと思うようになりました。その後、サラリーマン生活をやめ、妻と共にイタリアに渡りました。イタリアでは3年学びました。その間、2つのワイナリーで働いたのですが、その一つが日本人の方が経営されている農園ワイナリーで、

カーデザインなどで有名な宮川秀之さんの農園で栽培と醸造の両面を、国際色豊かな現場で、実践で学びました。その後日本に帰国し、勢いそのままに、ワイン用ぶどうの栽培を始めたかったのですが、実家は農家でもないし農地がない、農地を貸してもらいたければ農家でない、という難問に当たり、豊田市農政課に相談に行くと、折りよく農業の講習「農ライフ創生センター」が始まるという情報をキャッチ。主に定年退職者の方が対象だったようですが、私も1期生として講習を2年受けました。2006年に農政課の斡旋で、豊田市勘八町に土地を借り、やっとぶどうの苗が植えられたわけです。その後、紆余曲折、試行錯誤を経て、初めて収穫ができたのが2008年秋でした。そのぶどうを長野県塩尻市のワイナリーに持ち込み、委託醸造と言う形で、ワインが誕生しました。そして、晴れて販売が出来たのが昨年2009年です。それもわずか750本でした。

振り返ると、思い立ってイタリアに渡ったのが2000年なので、初ワイン販売までに10年もの歳月が流れていました。ワインを作った本人としては、ワインの味わいや質に、この土地でもコレくらいのもので出来るのか、まだまだ向上の余地はあるな、と可能性を感じる内容になったと感じています。そして買っていたいただいた方々の表情で、最初、豊田のワインと聞いて、半信半疑だった顔がエッって顔がされたとき、また応援のメッセージを送ってくださったり、もっと私たちの事を知りたいとたくさんの方々に興味を持っていただいたりと、発売初年度ということもあるかもしれませんが、素直にうれしかったです。ある程度想像はしていたのですが、やはり予想以上にこの豊田という土地でワイン用ぶどうを育てることに四苦八苦しました。大きくは私たちが学んだヨーロッパの気候、土壌の違いといったこと。そして畑環境による病害虫や獣たち、インシムやアナグマ、小鳥たちとの、私たちにっては生活がかかった、命がけの知恵比べみたいなものです。今だ試行錯誤は続いているわけですが、逆に何もかもがスイスイ行くより迷いや悩みがあった分、必死で工夫することが出来ましたし、自分自身の身の丈を常に意識することができ、良かったのかなと感じています。

◆展望

現実問題、まだまだワインプロジェクトは事業経営として収支が大変なのですが、様々なリスクの一つずつ自分の懐に手はずけながら、階段を登りたいと考えています。ステップの意識を大切にしたいと、常に考えています。まずこの豊田でワイン用ぶどうができること。そして次それがきちんとワインになること。さらに皆さんに興味を持ってもらえること。と進んできて、次のなるステップは、自前のワイナリー計画です。酒税法の規定するワインの製造免許について、検討するという段階と考えています。また、酒税法の製造免許の要件であります。生産量の要件、技術的な要件、販路と資金の要件、など十分に検討が必要な課題が多いですが、一つずつ丁寧に対処していけば、無理ではないと思っています。そして、法律のほうでも条件緩和の傾向が見られます。『ワイン特区』というのですが、特区申請は、地方自治体、ここでは豊田市ですが、内閣府に対し構造改革特区の申請をし、認められた場合、ワイン製造免許の要件が緩和されます。特に生産量の要件で緩和が大きいので、自分たちのぶどう供給能力、醸造施設・設備等の初期投資、販売数量の適正などが、小さなこだわりのあるワイナリーを考えている人間にとっては、より手の届きやすい現実的ラインに下がってきていると思います。ですので、私たちは少しづつぶどう栽培の安定とワインの品質を保ち、販路を大切に、市場の動向を見ながら、ゆくゆく自治体のほうに具体的なお話を持っていけたらと考えています。

◆私たちのテロワール

みなさんはワインに詳しい方も多いため、『テロワール』という言葉に耳にされたことも多いと思います。ワインを語る上で、必ず出てきます。その優劣を喧々諤々として、ワインの値段にまで大きく反映してきます。数百円の世界からウン十万の世界まで。簡単に言うと、ワインができる土地の気候、土壌の特異性でも言いましょうか。ここ豊田でもワインが誕生したわけで、はて豊田にテロワールって・・・。確かにポルドーやブルゴーニュといった銘醸地と呼ばれる地域のテロワールや年代ものを良くご存知の方もいらっしゃると思いますが、でもそれは断片的な情報で、本当の真偽のほどはわからないと言うことです。でも豊田で出来たワインだったら確実なことを言える人たちがいます。今年は正月から、比較的雪が多く降っています。この調子だと桜の開花はどうでしょうか。梅雨は昨年のように長いでしょうか。夏の暑さは厳しいでしょうか。昨年のような台風は来るのでしょうか。そして秋は早いでしょうか、紅葉は、そしてまた冬・・・。実は、豊田でテロワールという

概念を話すとき、まさにみなさんが肌で感じていること、一番理解していることだと思うのです。そして、そんな一年間の末できたワインは一体どんななのか。なるほど、だから、この年のワインはこうなんだ、と言える存在。皆さんがそれだと思います。私たちは大手ワインメーカーではありませんので、毎年均一な味わいを目指すというより、その年々の性格がはっきりと出たワインをつくってほしいと思います。つまりは、この土地に住む皆さんが、この土地のテロワールを語れる主役だと私は考えています。

最後に私からの提案です。私たちはみなさんに、ワインという『新しい物差し』で豊田市を見てもらえたらとおもっています。いつもだったら気にしない長雨も、ああこれはワインには悪いなとか、意外にこの時期乾燥してな、ワインにいいんじゃないのとか。時には、立ち止まって、空を見上げて、大きく息を吸う。そんな物差しでこの町を見ると皆さん気づかなかったものがたくさん見えると思います。実際、私自身、畑で作業をしていると天気に頭を悩ますことも多いですが、それでも何度も「ああきれいだな」と素直に感じられる空の色や雲の形、光の差し込み、葉っぱ、土、虫、いろいろなものに会えます。ああここ豊田か。と何度も思います。これは豊田の環境の再認識になると思います。私たちは、私たちのワインで、この土地の気づかれず見過ごしてきた魅力ある点、そして可能性を新しい角度から感じていただけるよう頑張っていきたいと思っています。

\*\*\*\*\*

**ニコボックス**

本日の当番 村上雅則君



- 天野勝美君  
本日16年の皆出席賞を頂き、大変ありがとうございます。無事に今日までやってこれました事に感謝して投金致します。
- 杉浦正典君  
30日(土)に米山奨学生の採用試験が行なわれます。採用数25名で難関です。優秀な人材が多数みえ、論文等の資料を読んでいます。応募者80名全てを採用したい気持ちです。
- 横山眞久君  
ネームプレートがいつの間にか一番上の段になってしまいました。元気でいれる事に感謝しつつ年を感じます。卓話の丸井君、今年もトレーニングを積んでピッチング頑張ってください。
- 友情投金  
井戸雅裕 鈴木元弘 斎藤正吉 三宅英臣 後藤尚之  
宮戸優治郎 赤松 明 下地正孝 孕石邦雄 鈴木万衛  
片田直幸 丸井俊裕 市川善英 藤村匡泰 岡田勝美  
鈴木賢三 松尾隆延 大山輝美 野口明生 光岡新吾  
鈴木幸伸 磯島吉晴 山田郁雄 荒木 徹 渡邊寿也  
北川尚子 梅村正明 福田正夫 神谷和利 鶴飼正男  
小島洋一郎 清水伸吉 倉地忠雄 神谷典之 浅井昭夫  
稲垣利彦 河合弘義 酒井法丈 秋田敬治 奥田清仁  
藤井伸三 杉浦正典 永田一夫

●村上雅則君  
当番とは知らず遅参してしまい松井さんに助けて頂き、ありがとうございます。昨夜は食事会の後、丸井さんはじめメンバーとワインで盛り上がりました。本日もワインにまつわるお話しという事で楽しみです。

| 出席状況                       |     | 出席委員会 河原秀紀 君 |     |      |        |
|----------------------------|-----|--------------|-----|------|--------|
| 例会日                        | 会員数 | 対象会員         | 欠席者 | 出欠会員 | 出席率    |
| 1/28                       | 84名 | 73名          | 21名 | 5名出  | 73.08% |
| 先々週(1/14)の修正出席率 ... 94.87% |     |              |     |      |        |

**次回の例会**

第2415回  
 日時 22年2月18日(木)  
 場所 ホテルトヨタキャッスル  
 卓話 光岡新吾君

豊田ロータリークラブ  
 〒471-0034 豊田市小坂本町1-4-12  
 Tel 0565-32-5555 Fax 0565-32-5559  
 E-mail:office@toyotarc.jp HP: http://www.toyotarc.jp